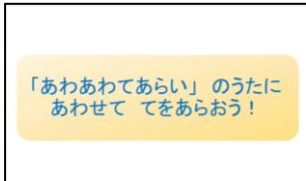


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	県立倉敷まきび支援学校	実践者名	岡本、近藤、佐藤、今井、舩岡、中原
実践場面 (教科)	日常生活の指導、体育		
単元・題材名	日常生活の指導：「てをあらおう」 体育：「からだをうごかそう」		
学習目標・ねらい	日常生活の指導：丁寧に手を洗うことができる。 体育：体を大きく動かすことができる。		
対象の児童生徒の実態	小学部2年生。ほとんどの児童がタブレット端末やテレビなどの電子機器に注目することができる。また、半数以上の児童が示範をすることでまねることができる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
動画を AirDrop  で児童のタブレット端末に送信し、写真  で使用する。			
【取り組んだ題材】 どちらも小学部内で作成したものを使用。			
 ・日常生活の指導 歌に合わせて手洗いの様子が写真で流れる動画を提供した。 〈参考〉あわあわ手あらいのうた. ビオレ u https://www.kao.co.jp/bioreu/family/hand/song/			
 ・体育 児童が踊りやすいような振り付けで教師が踊る動画を提供した。 〈参考〉ももいろクローバーZ. おどるポンポコリン https://www.youtube.com/watch?v=ovrRdVce9Mc			
【振り返り】 夏休み明けには、動画を見ながら動きを改めて確認し、継続的に活用している。			
活用のポイント・改善策等			
・1か月程度行っている題材のため、児童が分かって取り組むことができる。夏休み明けにも行うことで、さらに定着を図る。 ・定着を図るためには、保護者との連携が今後必要である。			